



広報

つがる

2007

3.15

No. 51

●市の人口と世帯数(平成19年3月1日現在) ●人口 39,443人(男 18,888人/女 20,555人) ●世帯数 13,327世帯



郷土の伝統芸能引き継ぎ式…

2月26日、育成小学校で「三方荒神鹿島獅子(さんぼうあらがみかしまじし)」の引き継ぎ式が行われました。

卒業する6年生から「育成小の伝統を残して下さい」とメッセージが送られ、伝統の獅子踊りを後輩に託しました。



主な内容

- 市役所組織機構改編について …… 2
- 2周年記念イベント …… 3
- つがる市文化賞・スポーツ賞の表彰 …… 4～5
- 男女共同参画社会⑥ …… 6～7
- 街の話題 …… 8～9
- お知らせ …… 10～16

4月から 市役所 組織機構改編

市では、社会情勢に対応した組織や機構改革、簡素で効率的な事務事業の実現を目指し、平成十九年四月一日から次のとおり組織機構を改編します。

皆様のご理解とご協力をお願いします。

【総務部】

イオン柏出張所を柏支所から市役所総務部へ所管替えします。

【福祉部】

福祉事務所と統合し機能の再編強化を図ります。

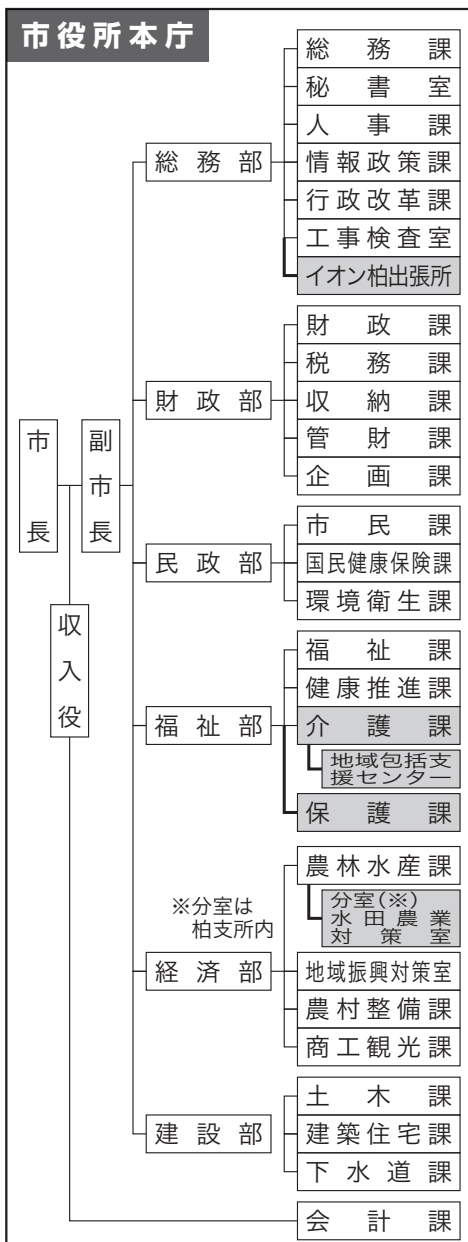
介護課と保護課を新設し介護支援センターを介護課へ編入します。

【経済部】

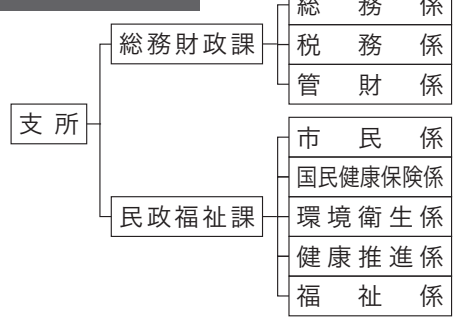
水田農業対策室を柏支所に新設します。

【各支所】

経済建設課の業務全般を本庁へ移行します。



各支所



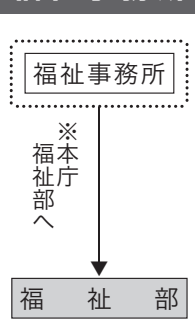
【福祉事務所】

柏支所から市役所本庁福祉部へ移行します。

民生福祉課の健康推進業務を本庁へ移行します。

へ統合し機能の再編と強化を図ります。

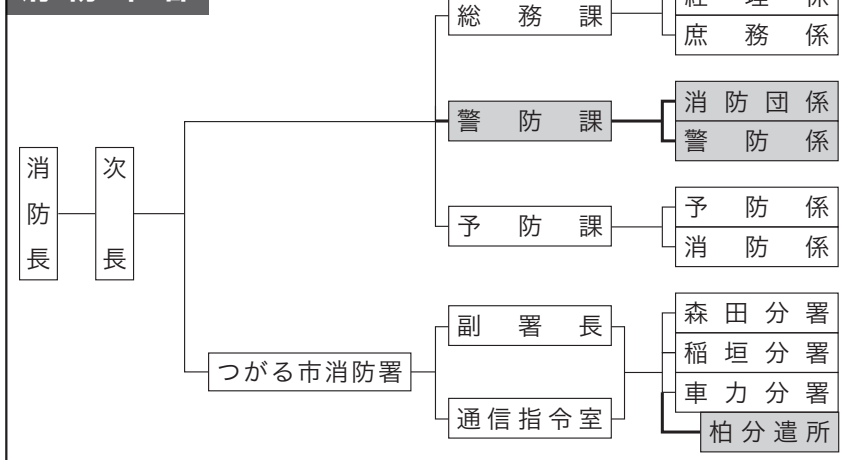
福祉事務所



【消防本部】

警防課を新設します。柏分署を分遣所とします。(救急体制は維持します。)

消防本部



【教育委員会】

生涯学習課とスポーツ健康課を統合し機能強化を図ります。全国スポーツレクリエーション大会事務局分室を新設し、森田公民館に設置します。

教育委員会



つがる市誕生二周年 記念イベント開催

二月十一日につがる市の誕生を祝う記念イベントが、イオン柏シヨッピングセンターにおいて盛大に行われ、たくさんの方々がお祝いに駆けつけてくれました。

はじめに福島市長が「新田の歴史が彩る日本のふるさとの実現に向け、活気ある街づくりのために、皆さんのお力添えをお願いします」とあいさつし、続いて祝舞では伝統芸能である育成小学校による「三方荒神鹿島獅子」の舞を力強く披露してく



三方荒神鹿島獅子がお祝いの舞いを披露

れました。

また、会場では「縄文ふるまい鍋」五〇〇食がふるまわれ、長蛇の列ができ、小さな子供たちも「おいしい!」と言って食べていました。

後半では、ATV青森テレビで放送されている「いいでば! 英語塾」の公開録画(テレビ放送なし)が行われ、福島市長、成田経済部次長と黒石八郎さんの津軽弁とレイチェル安藤さんの本場の英語が絡み合い、軽快なトークで会場からも笑いがおこっていました。

イベントの最後には、「つがるちゃんチョコレート」二〇〇個が限定で配られ、みんな記念に持ち帰っていました。



縄文ふるまい鍋に市民が長蛇の列

他にも農産物の即売会や今も昔も薫って展など二周年を記念した行事でにぎわっていました。

松橋勝利氏 繰上当選

三月二日、市選挙管理委員会では、一月に行われた市議会議員選挙で欠員が生じたため、公職選挙法に基づき(三カ月以内に欠員が生じた場合は繰上補充しなければならぬ)当選の決定をする選挙会を開きました。

先の選挙において次点だった松橋勝利氏の繰上補充を決定し、五日市役所会議室において、当選証書が付与されました。

松橋 勝利 六十八歳 無現住所 富苑町里見三六番地
通算当選回数 六回



観光ボランティア ガイド講習会

二月二十六日、観光ボランティアガイドの講習会が、市役所で行われボランティアガイドを目指す市民らおよそ五十五名が参加しました。

講師の青森県観光ボランティアガイド連絡協議会の平井憲治会長は「つがる市が有する貴重な自然(ベンセ湿原・埋没林など)と調和しながら、ガイドという形式にとらわれず案内者・

訪問者双方の新たな発見、出会いの喜びを知ることが重要」と話していました。

ボランティアガイドを続けている参加者は「つがる市の豊かな自然のPRにお役に立ちたい」と思っており、ガイドを続けていますが、今回参加してみても、また新たな視点で観光ガイドのボランティアが出来そうです」と話していました。



観光ボランティア ガイド募集

つがる市では、昨年同様、六月一日から六月三十日まで「定期観光バス」を運行する予定です。観光バス運行に伴い、訪問者に市内観光地をご案内してくださるボランティアガイドを募集いたします。

一カ月間のガイド回数は、二〜三回程度です。

内外から訪れる方々につがる市の魅力を伝えるガイドをしてみませんか!

立寄場所(予定)

ベンセ湿原・出来島埋没林・稲穂いこいの里・フラット・高山稲荷神社・つがる地球村・日本最古のりんごの木 他

問い合わせ先

市役所 商工観光課

電話 四二一 一一一四

功績と活躍をたたえて

平成十八年度 文化賞二十六個人

スポーツ賞六団体八十五個人に贈る

二月二十五日、松の館でつがる市文化賞、つがる市スポーツ賞の授与式が行われました。

＊つがる市文化賞

〔文化賞〕

外崎裕司

第十五回全国公募水墨画北水展内閣総理大臣賞

〔青少年文化賞〕

宮西史郭（柏小四年）

第32回「私のアイデア貯金箱」コンクール東北支社長賞（郵政公社）

加藤楓乃（繁田小六年）

赤い羽根共同募金作文コンクール最優秀賞

山谷優希、小笠原由佳、葛西あずみ、平川幸奈（木高三年）

全国高校生かるたグランプリin つがる団体三位

石田利菜（同高三年）

第七十回榊多摩杯争奪全国かるた競技大会個人C級優勝

浅見奈緒子（同高三年）

第七回東北地区高等学校かるた競技対抗戦団体B級優勝
外崎恵里華、小村歩華（同高二年）

第十三回高校かるた東北大会

団体優勝

野宮美聡、工藤美希（同高一年）

第十三回高校かるた東北大会
団体三位

太田尚子、田村帆波、秋田谷真美

工藤美奈子（五一高三年）、熊

谷瑞希、木村優里香（同高二年）、

成田侑香、木村祥（同高一年）

第二十七回青森県高等学校総合文化祭郷土芸能部門最優秀賞

岡元瑞穂（五一高三年）

第二回「地域の伝承文化に学ぶ」コンテスト創作作品部門佳作



文化賞受賞者

〔青少年文化奨励賞〕

長利祐加子（車力中二年）

第二十七回青森県学生かきぞ

め席書大会青森県教育委員会
教育長賞

栗林祐太、松山祐二（五工高二年）

パソコン甲子園2006プロ

プログラミング部門本選出場

片山竜一（五工高三年）

第二十七回青森県高等学校総合

文化祭テレビ番組部門優秀賞

＊つがる市スポーツ賞

《スポーツ栄誉賞》

伊藤俊樹、鶴賀隼人（森田中三年）

第三回全国少年相撲選手権大

会団体戦優勝メンバー

伊藤 豊（つがる市相撲協会）

第六十一回国民体育大会相撲

競技青年A団体二位メンバー

乳井博 嘗（つがる市相撲協会）

第四十五回全国教職員相撲選

手権大会団体戦三位メンバー

加福明浩（五衛館加福道場）

第六回熟練者全国空手道選手

権大会個人男子四〇歳組手の

部優勝

對馬真奈美（五一高三年）

第三十三回全国高等学校少林

寺拳法大会女子初段組演武の

部優勝

盛なおみ（同高三年）

第三十三回全国高等学校少林

寺拳法大会女子団体演武の部

準優勝メンバー

江良修平（同高三年）、土岐隆介、

寫村翔太（同高二年）

第三十三回全国高等学校少林

寺拳法大会男子団体演武の部

三位メンバー

櫻庭沙織（同高二年）

第三十三回全国高等学校少林

寺拳法大会女子団体演武の部

二位メンバー

坂本孝俊（つがる市走友会）

第六回全国障害者スポーツ大

会陸上競技四〇〇m壮年の部

優勝

成田泰崇（国土館大四年）

全日本学生柔道体重別選手権

大会73キ優勝

蝦名 渉（国際武道大四年）

全日本学生柔道体重別選手権

大会60キ級三位



ジュニアスポーツ賞受賞者

《ジュニアスポーツ賞》〔団体の部〕

稲垣ジュニアバレーボールクラブ

大高早映子、大丸谷星花、大

丸谷夏希、工藤南、加藤千菜

実、加藤楓乃（六年）、外崎

紗友美（五年）、工藤千春、

三上留奈（四年）

第二十六回全日本小学生バ

レーボール大会青森県大会

優勝

稲垣少年バレーボールクラブ

工藤悠真、佐藤千嗣（六年）、

斉藤拓図、秋元錬、黒滝泰世、

黒滝京、加藤裕人、尾野力哉

（五年）、笠井亮治、佐々木祐

公、斉藤悠磨（四年）、工藤

颯（三年）、笠井飛希（二年）

アシックス杯第二十三回青

森県小学生バレーボール交

歓大会優勝

向陽小学校相撲部

對馬康幸、大高静流、野呂健

治（六年）、野呂幸治、石森

淳嗣（五年）、斉藤悠世（四年）

第二十五回東北学童相撲大

会団体優勝

《ジュニアスポーツ賞》〔個人の部〕

大高早映子（稲垣西小六年）、

三上留奈（同小四年）台丸谷星

花（豊川小六年）、台丸谷夏希（同

小六年）、工藤南（繁田小六年）、

加藤千菜実（同小六年）、加藤

楓乃（同小六年）、外崎紗友美（同

小五年）、工藤千春（同小四年）

第二十六回全日本小学生バ

レーボール大会青森大会優勝

工藤悠真（柏小六年）、工藤颯（同

小三年）佐藤千嗣（稲垣西小六

年）、笠井亮治（同小四年）、斉

藤悠磨（同小四年）、佐々木祐

公（同小四年）**斉藤拓図**（同小五年）**笠井飛希**（稲垣西小二年）**秋元鍊**（豊川小五年）、**黒滝泰世**（繁田小五年）、**黒滝京**（同小五年）、**加藤裕人**（同小五年）、**尾野力哉**（同小五年）

優勝

大屋徳哲（瑞穂小六年）

第二十二回全国小学生陸上競技交流大会青森県代表選考会六年男子一〇〇m優勝

高橋志乃（瑞穂小六年）

アシックス杯第二十三回青森県小学生バレーボール交歓大会優勝

大澤龍政（瑞穂小六年）

第六回全国武道空手道交流大会グロース空手小学校の部女子高学年優勝

小山内力樹（森田小六年）

第十九回全日本小学生相撲優勝大会東北ブロック予選六年生の部優勝

永澤翔（柏小六年）

第十二回東北ジュニアゴルフ選手権競技男子十一歳以下の部優勝

渋谷直寿（木造中一年）

第二十七回東北中学校陸上競技大会1年男子一〇〇m優勝

木村啓太郎（津軽中一年）

第三十六回東北中学校バスケットボール大会優勝

生田裕仁（青森山田中二年）

第四十八回NHK杯争奪卓球選手権大会中学個人優勝

田中滉大（青森山田中三年）

青森県中学校体育大会夏季大会水泳競技男子一五〇〇m自由形優勝

アオリンピックカップ夏季水泳競技大会十三〜十四歳女子二〇〇m背泳ぎ四位

《スポーツ賞》〔団体の部〕

つがる市相撲協会

花田裕也、木村健太郎、木村長平、伊藤豊、黒滝有志、小山内大雅、葛西純也

第六十一回市町村対抗青森県民体育大会市の部団体優勝

木造高等学校ソフトボール部

小田桐夕貴、會津知子、原田知英、神島英実、成田有花、高橋麻耶未、藤田智穂（二年）、大坂谷祥生、成田愛未、三上真珠、長谷川里紗、佐々木朋子、成田美寿々、白川美咲、原田莉衣、安田奈緒美、佐藤量美、滝吉里奈、松橋亜未、笹村有以、山口夏希（一年）

第四十八回青森県高等学校大会優勝

体育連盟女子ソフトボール新人大会兼全国高等学校ソフトボール選抜大会青森県予選会優勝

五衛館加福道場

加福明浩、坂本慈之、田中久恵、川浪善嗣

第三十五回青森県空手道選手権大会大学・一般男女団体形優勝

《スポーツ賞》〔個人の部〕

葛西純也、花田裕也、木村長平、黒滝有志、小山内大雅、木村健太郎（つがる市相撲協会）

第六十一回市町村対抗青森県民体育大会市の部団体優勝

會津知子（木造高二年）、大坂谷祥生、成田愛未、三上真珠、長谷川里紗、松橋亜未（同高一年）

第四十八回青森県高等学校体育連盟女子ソフトボール新人大会優勝

坂本慈之（五衛館加福道場）

第三十五回青森県空手道選手権大会大学・一般男女団体形優勝

岡本紗佑利、佐々木藍、三浦菜美（聖愛高一年）

青森県高等学校新人バレーボール選手権優勝

山谷尚也（五一高二）

青森県高等学校少林寺拳法春季大会男子段外組演武の部優勝

小島和泉（同高一年）

第五十九回青森県高等学校総

合体育大会少林寺拳法競技団体規定演武の部優勝

七戸芳朗（青森山田高三）

第八十八回全国高等学校野球選手権大会青森大会優勝

藤田浩幸（東奥義塾高三）

第五十九回青森県高等学校総合体育大会水泳競技男子二〇〇mバタフライ優勝

和田和幸（木造高三）

第三十三回東北総合体育大会陸上競技青森県選考会男子二〇〇m優勝

平川洋典（木造高三）

第五十九回青森県高等学校総合体育大会柔道競技81kg級優勝

帯川将樹（つがる市ボウリング協会）

青森県年齢別ボウリング選手権大会ユース部門優勝

増田幹也（五高二）

第四十四回青森県高等学校ウエイトリフティング競技新人大会105kg級優勝

對馬徹（五高三）

第五十九回青森県高等学校総合体育大会弓道競技男子の部優勝

秋庭隆雄（つがる市走友会）

第六十一回市町村対抗青森県民体育大会市の部一五〇〇m優勝

栗林輝生（つがる市走友会）



スポーツ賞受賞者

男女共同参画社会コーナー⑥

アンケートから見た 「つがる市の男女共同 参画社会の現状」

十月から掲載した、このコーナーも今回が最後となりました。

第一回目から男女共同参画社会について、「男女平等」「役割分担意識」「子育て」「働き方」等について、掲載してきました。それでは、つがる市民はどう感じているかについて、平成十

八年一般市民（市に在住の千名）を対象に実施（平成十八年二月二十四～三月五日）した「男女共同参画意識調査 アンケート」から抜粋して、「女性が仕事を持つこと」「男女の家庭生活」についてふれてみたいと思います。

また、政治の場での男女の優劣については、男女間で感じ方に違いが見られます。法律や制度上では「男女平等」を掲げられているものの、実際では男女

律上」や「教育の場」では平等を感じていますが、「家庭」や「職場」「社会慣習」「政治の場」では、男性が優遇されていると感じている結果となっています。

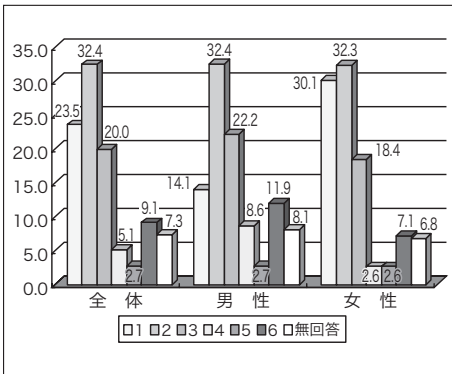
とも「男性が優遇されている」と感じ、法律や制度・社会通念上の考え方は矛盾があることを示しています。

2、3、4について

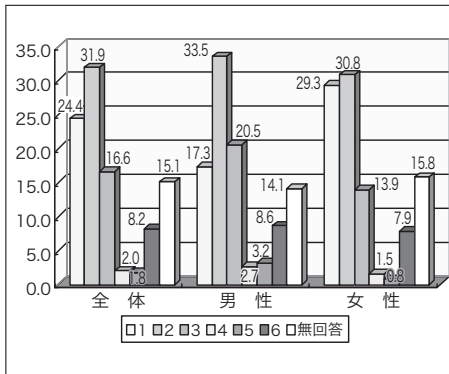
男女とも女性の仕事については、女性の考え方を尊重したいと思っているようです。一方、子育てに関しては「母性と父性

1 「次に掲げる社会生活の中で、男女の待遇をどう感じるか」について

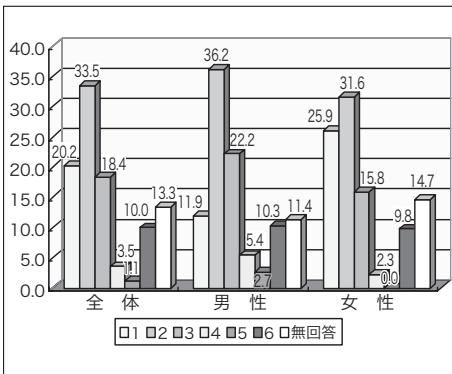
①家庭生活では



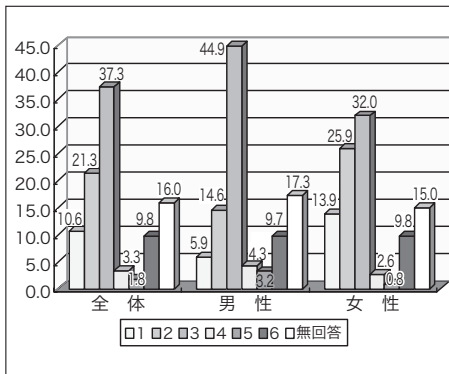
②職場では



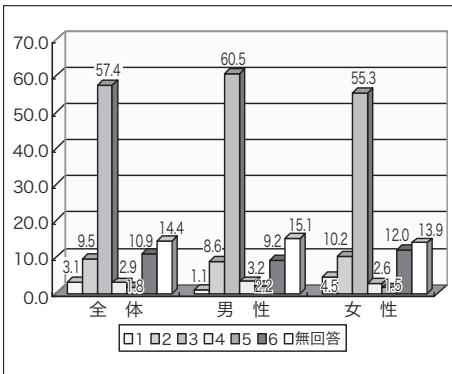
③社会習慣では



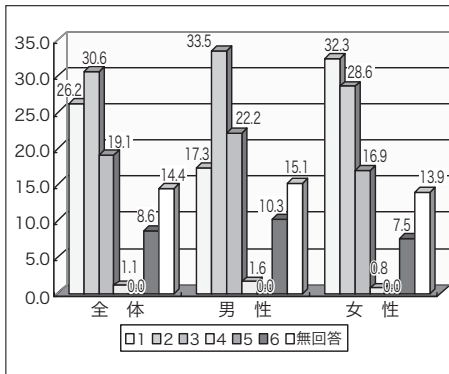
④法律や制度の上では



⑤教育の場では



⑥政治の場では

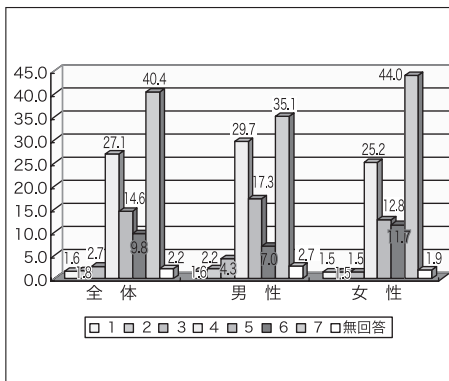


- 1の凡例 1 男性が優遇 3 おおむね平等 5 女性が優遇
2 男性がやや優遇 4 女性がやや優遇 6 どちらともいえない

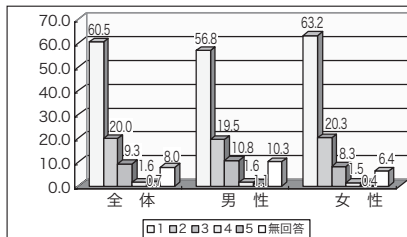
2 「女性が仕事を持つことについて、どう思うか」について

2の凡例

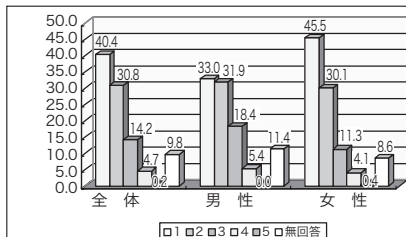
- 1 女性は仕事を持たない方がよい
2 女性は結婚できるまで仕事を持った方がよい
3 女性は子どもができるまで仕事を持つ方がよい
4 子どもができたら仕事を辞め、子どもが大きくなったら再び仕事を持つ方がよい
5 自己実現のために、子どもができてずっと仕事をした方がよい
6 パート等で子どもが学校等へ行っている間だけ仕事をする方がよい
7 仕事を辞めるも続けるも本人の自由である



3 母性は子育てに最も大切



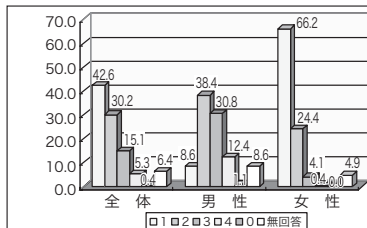
4 父性は子育てに最も大切



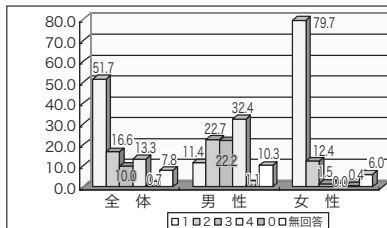
3と4の凡例 1 非常にそう思う 2 ややそう思う 3 どちらとも言えない
4 あまりそうは思わない 5 全く思わない

5 男性の日常生活への関わりについて

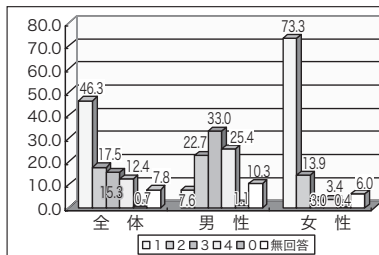
① 掃除



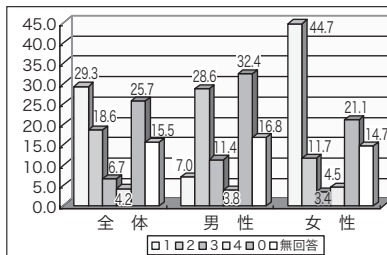
② 洗濯



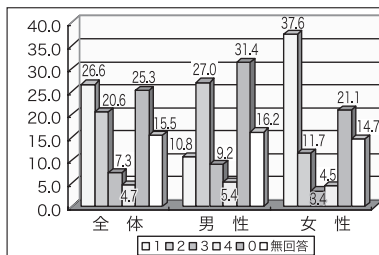
③ 食事の支度



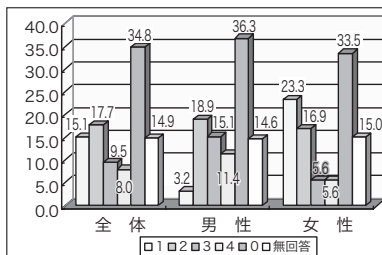
④ 子供の世話



⑤ 子供のしつけ、教育



⑥ 高齢者や病人の世話



①～⑥の凡例 1 いつもする 2 時々する 3 あまりしない
4 全くしない 0 該当しない

の存在」は必要であり、特に、男女とも子育てには母親の存在が重要で、男性は子育てに専念してほしいと感じ、女性はしたいと思っていることがうかがえます。

また、自由意見では、「男性は結婚しても仕事が終われば自分の時間もあり、女性の場合は自分の時間もとれなくなる」という意見も出されていました。

このことから、女性が仕事をもち働き続けるためには「家族の協力と理解」が不可欠な条件であると言えます。そのためには、家族間での十分な話し合いを持つ必要があるようです。

5について

日常生活の関わりについて見ると、「掃除」「洗濯」「食事の支度」「高齢者や病人の世話」について、圧倒的に女性の仕事となっているようです。ほとんどの家事は女性の手によって行われ、女性の負担が大きいことが浮き彫りとなっています。

さらに、「子供の世話・しつけ・教育」についても、女性が主で男性は時々という結果になっています。3と4の設問では「母性も父性も子育てには大切」という考え方と少し違った結果が

出ています。

市民の皆さんは、以上のアンケートの結果とこれまでの掲載記事から「男女共同参画社会」をどのように受け止めたでしょうか。

「世の中、男女平等になっていく」とか「女性も社会進出して十分強くなった」とか言われています。しかし、私たちの意

識や慣習、社会制度の中には、期待される役割や行動を「男だから、女だから」と性別によって画一的に分類してしまう固定観念が残っていて、一人ひとりの個性・能力の発揮や柔軟な発想、男女の対等な参画、互いの生き方などを、知らず知らずのうちに制約しているようです。

「男女共同参画社会」とは、はあなたが生きてきたこれまでの人生を否定するものではなく、女性も男性もあらゆる分野に平等に参画して共にいきいきと活躍し、充実感と豊かさを共有しながら、互いに安心して暮らすことができる社会。そして、女性と男性が真のパートナーとして、これまでの性別役割分担意識にとらわれない新しい価値観や生活スタイル、文化、社会システムを創造する、そうした社会の姿を目指していくものです。

市では、皆さんからいただいた意識調査の結果やご意見等を踏まえて、今後「つがる市男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて取り組んでいきます。

これからも市民の皆様のご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

市役所 企画課

電話 四二二三七二

話題

園児が座禅修行

— 館岡保育園

2月9日、館岡保育園の園児37人が、洪福寺で住職の指導により座禅修行をしました。

洪福寺では、園児の座禅修行を昭和59年から始めており、精神集中の鍛錬に役立っていると住職は話していました。

修行をした園児らは、保育士のお話をキチンと聞き、真剣に取り組んでいました。



災害に関する研修会で勉強 — 社会福祉協議会

2月9日、森田保健福祉センター「あーすとぴあ」で社会福祉協議会やサービスセンター職員が防災指導官防災計画や災害の基礎知識について学びました。

研修会では、防災指導官による防災に対する心構えや消防署員による実際の映像を利用した地震時の避難方法等といった知識について学んだ後炊き出しや止血方法、AED（自動体外式除細動器）の模擬演習を体験しました。



児童を守ってください — 防犯ベルを寄贈

2月21日、医療法人白生会胃腸病院から市教育委員会へ「新入学児童の防犯に役立ててください」と防犯ベル300個が寄贈されました。

白生会からは昨年に引き続き寄贈されたもので、半田教育次長は「新1年生全員に配布して、防犯の一助として有効に活用したい」と話していました。
(写真左：白生会 加藤事務長)



全国凧揚げ大会

— 柏

2月18日柏口マン荘北側で、第7回全国凧揚げ大会が開催され、県内外から約200名の参加者でにぎわっていました。

今年は暖冬の影響で田んぼには雪もなく、当日は風もなく田んぼは泥んこ状態で凧揚げとしては最悪の状態でしたが、県内や北海道、秋田、山形県からの参加者はそれぞれ自慢の凧を精一杯掲げていました。



世代間交流会でながよく — 丸山保育所

2月28日、丸山保育所で「世代間交流会」が行われ、園児とお母さん、おばあちゃんら約60人が参加し「押し花の葉」と「飾りのり巻き」を一緒に作り、世代を越えて楽しい時間をすごしました。

葉づくり、飾りのり巻きは地域のおばあちゃんのご指導で、園児は見よう見まねながら、一所懸命にがんばっていました。



街の



船魂祭で海の安全祈願 — 木造出来島地区

2月28日、出来島老人憩いの家で出来島漁業生産組合による第52回船魂祭りが行われました。

この祭りは海上安全や大漁を祈願し行われるもので、船魂祭に先立ち同地区の四所神社と辨天神社他を参拝した後、船着場では漁船をお神酒で清め無事故と大漁を祈願しました。

アップリート君が全国スポレク大会をPR — イオン柏

2月18日イオン柏ショッピングセンターで、今年9月に行われる全国スポーツレクリエーション祭の大会マスコットキャラクター「アップリート君」がPR活動を行いました。

会場では、種目別の体験やぬり絵教室も開かれ、皆楽しめたイベントとなりました。本大会のつがる市会場は、9月23日と24日森田町のゲートボール場で行われます。



紙縫り(こより)工芸教室でガンバリました

松の館で2月19日から3回の日程で行われた紙縫り工芸教室では参加者が熱心に講師の工藤せこさんの説明を聞き、花びん等の制作をしました。

また、参加者同士でアイデアを出し合い、初めて制作したとは思えない見事な出来ばえでした。また、中には宿題として自宅でがんばるという参加者もいました。



認定農業者がさらなる技術を求めて勉強会

2月20日松の館で、つがる市認定農業者協議会が研修会を開催しました。

研修会では、スガノ農機株式会社菅野氏の講演で始まり「安心できる食べ物は、育てる土壌の安全保証」であると強く話していました。事例発表では3人が発表を行い、実際に良かった事や苦労した話など発表され、参加者は興味深く聞き入っていました。



梶浦さんの子牛が最高値で販売

1月12日開催された子牛市場において、梶浦武則さんの子牛が県の平均価格を大きく上回る最高値で販売され、2月9日に県畜産農業共同組合連合会長より表彰を受けました。

平成13年から始めた梶浦さんは「経験もなく育ててきたが、自分の子牛が最高値とは夢にも思わなかった、これも組合の熱心な指導のおかげ」と話していました。



おしらせ

information

窓口での封筒が変わります

市役所および各支所・出張所の窓口で交付を受けた各種証明書を入れる窓口封筒が変わります。

これまでの窓口封筒は市で製作したものを備えておりましたが、株式会社郵宣協会が広告主の協賛を受け作成し、市に寄贈することとなりました。

市では行財政改革の一環として経費節減のため、寄贈を受けるものです。封筒には広告のほかに、各種届出をされる際の説明も記載されています。

なお、市役所および各支所・出張所へは四月一日(日)より設置する予定です。

封筒おもて面



問い合わせ先

市役所 市民課

電話 四二二二〇八

公民館使用料統一のお知らせ

四月一日より公民館条例の一部改正により市内すべての公民館使用料が統一されますのでお知らせいたします。

区分	使用料
大ホール	一時間 一〇〇〇円
大会室	一時間 一〇〇〇円
講堂、公民館	一時間 一〇〇〇円
調理室	一時間 四〇〇円
その他	一時間 三〇〇円
入場者から入場料その他これに類する料金を徴収する場合及び冠婚葬祭のための利用料	全館一日 一万五〇〇〇円

一冬季(十一月～四月)の使用料は、二割増とする。

二夏季(七月～八月)の牛潟公民館大ホール使用料は、二割増とする。

三電気料、ガス代及び水道料金は使用料に含める。

問い合わせ先

市教育委員会 生涯学習課

電話 四九二二〇〇

国家公務員試験のお知らせ

人事院では、国家公務員採用I種試験(大学卒業程度)を実施いたします。

受付期間は四月二日(月)から九日(月)までで、第一次試験は四月二十九日(日)に行います。

問い合わせ先

人事院東北事務局 第二課 試験係

電話 〇二二二二二二二〇二二

http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm

愛車の住所変更

自動車税の納税通知書は、原則として四月一日現在の自動車登録の住所にお送りしています。

もし、引越など住所が変わった場合は、運輸支局で住所の「変更登録」の手続きが必要です。

この「変更登録」の手続きを三月中にできない場合は、県税事務所へ住所変更届をファックスなどにより届出するか、電話によりお知らせください。

住所変更届は、県税事務所その他、各市町の税務担当窓口でも配布しています。

また、自動車税の住所変更届は県税・市町村税インフォメーション(<http://www.pref.aomori.lg.jp/zeimu/>)でも受付しています。

問い合わせ先

五所川原県税事務所 納税課

電話 三四二二二二

(内線二〇九二二二)

FAX 三四二二二〇

市税の「口座振替(自動払込)」を募集しています

つがる市では、平成19年度分市税(市・県民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税)の「口座振替」を募集しています。

市税の「口座振替」を希望する方は、市内の金融機関等(銀行・農協・郵便局)で、納税通知書(平成18年度分)・預貯金通帳・通帳の届出印を持参のうえ、申込み手続きをしてください。

詳しくは、市内の金融機関等及び市役所収納課・各支所・出張所の窓口に置いてあります「市税等の口座振替のご案内」をご覧ください。

問い合わせ先 市役所 収納課 電話 42-2163



農用地区域内からの 除外手続きについて

農地を住宅（公営・農家）や商業施設（条件付き）、農業関係施設等の用地にする時には、農地の転用許可が必要となり、その農地が農用地区域内にある場合はまず、農用地区域内から除外することが必要です。

この除外手続きは、申請書を受理してから各関係機関の意見徴収や審査、告示等の手続きが必要となります。

また、申請から許可まで六カ月程度の期間を要するので、申請手続きは日数を考慮のうえ受付期間内に申請書を提出してください。

なお、除外申請の相談窓口は左記のと

おりですので、申請を予定している方は申請書受付期間前にお気軽に相談してください。

問い合わせ先

市役所 農林水産課

電話 四二二二〇九

劇団ふるさとときやらばん公演 地震カミナリ 火事オヤジ

今ある消防団を描いたミュージカルで、若くせつない愛と、年季の入った夫婦の愛と、七十歳を迎えた第二の人生に再び恋の炎を燃やす愛。いくら消防団でも愛の炎は消せないが、愛は連携をつくり人びとを災害から立ち上がらせてくれると

いう物語です。

日時 四月十三日（金）

開場 午後六時

開演 午後六時三十分

場所 オルテンシア

前売券 三千円

問い合わせ先

つがる市消防本部

電話 四二二七七四四

米軍車力通信所関係者 との交流会のお知らせ

米軍車力通信所より市民との交流を図りたいという要望があることから、清掃ボランティアや食文化を通して米軍等関係者との交流会を実施しますので、お気軽にご参加ください。

内容 富范町内ゴミ拾い、昼食交流

日時 三月二十四日（土）午前十一時

集合

場所 富范公民館

参加費 五〇〇円（昼食代・保険料として当日集めます）

申込締切 三月二十二日

申し込み・問い合わせ先

市役所 企画課

電話 四二二三七二

ボランティア募集

アジロックフェスティバル実行委員会では、次世代を担うエネルギーな若者が地域活性化の主役となるよう『AJI-ROCK FESTIVAL』を毎年開催しています。そこで、今夏開催予定の『AJI-ROCK FESTIVAL'07』に向け、一緒に企画・運営をしてくれるボランティアを募集しています。

現在バンド活動をしている方はもちろん、楽器はやらなくてもバンドに興味がある方、音楽に興味のある方の御協力をお待ちしています！

○ボランティア参加資格

中学生以上の方（但し、18歳未満の方は保護者の承諾が必要です）

○募集締切 4月30日（月）

申し込み・問い合わせ先

アジロックフェスティバル実行委員会事務局
（鰯ヶ沢町 日本海拠点館内）

住所 鰯ヶ沢町大字舞戸町字北禰181

電話 0173-72-555 FAX 0173-72-5565

E-Mail ajkypro@net.pref.aomori.jp

平成19年度 予防接種のお知らせ

- ◆集団接種【ポリオ】 対象年齢…生後3～90か月未満（標準的な接種年齢3～18か月）
 接種回数…2回（1回目接種後6週間以上の間隔をあけて2回目を接種）
 持参するもの…母子健康手帳、予防接種予診票

支所別	実施日	対象地区	実施場所	受付時間
木造	4/25(水) 6/27(水) 10/3(水) 1/23(水)	旧木造地区	つがる市立成人病センター	12:50 ～ 13:20
	4/26(木) 6/28(木) 10/4(木) 1/24(木)	川除・柴田・出精・越水・館岡・出来島地区		
森田・柏	4/27(金) 6/29(金) 10/5(金) 1/25(金)	森田地区・柏地区		
稲垣	5/18(金) 9/7(金)	稲垣地区	稲垣老人福祉センター	12:30 ～ 12:45
車力	7/12(木) 12/20(木)	車力地区	農民研修センター	12:40 ～ 13:20

留意点 ① 集団接種は住所をおく本・支所別での接種を原則としますので、実施日の対象地区を守るようにして下さい。

やむを得ず対象地区以外での接種を希望する方は接種1週間前までに必ず健康推進課へ連絡を下さい。

② 受ける前に予防接種の予診票を記入し、手引き等をよく読んでおくようにして下さい。

③ 保護者同伴が原則ですので、お子さんの健康状態をよく知っている保護者が必ずお連れください。

- ◆個別接種【三種混合（二種混合）・BCG・麻しん風しん・日本脳炎】

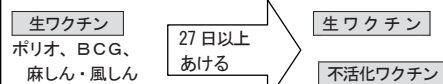
持参するもの…母子健康手帳、予防接種予診票

予防接種名	対象年齢	望ましい接種時期	接種回数
三種混合 ジフテリア 百日咳・破傷風	1期初回：生後3か月～90か月未満	生後3か月～12か月	3回
	1期追加：生後3か月～90か月未満	1期初回終了後1年～1年6か月の間	1回
	2期（二種混合）：11・12歳	小学校6年生	1回
BCG	生後3か月～6か月未満	生後3か月～6か月未満	1回
	1期：生後12か月～24か月未満	生後12か月～24か月未満	1回
麻しん・風しん (MR混合ワクチン)	2期：5歳以上7歳未満で小学校に入学する前の1年間にある者	小学校就学前の1年間 接種期間	1回
	対象者：平成13年4月2日生から平成14年4月1日生	[平成19年4月1日から平成20年3月31日まで]	
日本脳炎	※厚生労働省からの通達で現在中止しています。再開する場合はお知らせいたします。		

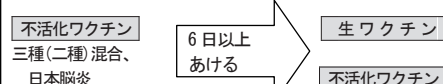
※ 二種混合（小学校6年生）の予診票は学校を通じて保護者へ配布致します。

（注）保護者同伴が原則ですので、お子さんの健康状態をよく知っている保護者が必ずお連れください。

定期的予防接種の接種間隔



ただし、ポリオの場合は6週間以上の間隔が必要です。



ただし、同じ予防接種の場合は3週間以上の間隔が必要です。

- ◆個別予防接種実施医療機関一覧 各医療機関によって受診方法・曜日等が異なりますので、確認のうえ受診してください。

医療機関名		電話番号	受付時間		備考
			午 前	午 後	
木造	みやしげ内科	49-1123	平日 8:30～11:30	2:00～6:00	希望接種日の3日前まで電話予約必要 日曜・祝日休診 水曜・土曜の午後休診 つがる市の乳幼児健診（4ヶ月児）の毎月実施日の午後及び4月12日・20日・26日・5月17日・24日（学校健診の為）の午後は予防接種を休ませて頂きます。
	山内クリニック (BCGを除く予防接種)	42-7171	平日 10:00～12:00 (水曜・土曜除く)	3:00～4:30	希望接種日3日前まで電話予約必要 電話受付時間 平日 8:30～17:00 水曜・土曜 8:30～12:00 日曜・祝日は休診
稲垣	尾野医院	46-2059	平日 11:00～12:00 (水曜・祝日除く)	4:30～5:30 (水曜・祝日除く)	希望接種日3日前まで電話予約必要 電話受付時間 平日 8:30～17:30 土曜・日曜 8:30～12:00 水曜・祝日は休診
			土・日 11:00～12:00 (祝日を除く)		
車力	ファミリークリニック☆希望	56-2148	8:30～12:00	2:00～5:00 (木曜日3:00～3:30)	水曜午前・土曜午後休診 第2・4木曜午後予防接種専門外来（木曜午後のみ要予約） 水曜・土曜の午後休診
五所川原市	駅前クリニック	38-5100	9:00～12:00	2:00～5:00	水曜・土曜の午後休診
	江渡内科医院	34-3000	8:30～11:30	1:30～5:00	第1・3土曜日8:00～15:00 第2・4土曜日8:00～12:00
	こどもクリニックおとも	39-2151	9:00～12:00	2:00～6:00	水曜・土曜の午後休診 火曜午後予防接種専門外来（火曜のみ予約必要）
	かねひらくクリニック	35-3167	8:30～12:00	1:00～6:00	土曜 午前8:30～12:00、午後1:30～3:00 日曜・祝日 8:30～12:00
	健生病院五所川原診療所	35-2542	8:30～12:00	2:00～4:00	午前 月・火・水・金 要電話予約 夜間 火・水・金 17:00～18:30 要電話予約 土曜の午後休診
	佐藤内科小児科医院	35-4155	8:30～11:30	2:00～4:30	木曜・土曜の午後休診
	すわ胃腸科内科クリニック	38-1133	8:30～12:00	2:00～4:30	木曜・土曜の午後休診、電話予約必要
	西北中央病院	35-3111		2:30～3:00	水曜のみ実施 【二種混合を除く】
	瀬川内科クリニック	33-0202	8:30～12:00	2:00～5:30	土曜の午後休診
	田町小山クリニック	34-3431	9:00～12:00	2:00～4:30	土曜の午後休診
	つしまクリニック	38-3456	9:00～12:00	2:00～5:30	土曜の午後休診、2～3日前に電話予約
	てらだクリニック	33-1200	9:00～12:00	3:00～6:00	水曜・土曜の午後休診
	富田胃腸科内科医院	34-3211	8:30～12:00	2:00～5:00	木曜・土曜の午後休診
	とやもり内科小児科クリニック	52-3331	9:00～13:00	3:00～6:00	木曜・土曜の午後休診
	永田小児科アルビオン科内科医院	34-5611	9:00～12:00	2:00～5:40	木曜・土曜の午後休診
鶴田町	白生会胃腸病院	34-6111	8:30～11:00	1:00～5:00	土曜の午後休診
	増田病院	35-2726	9:00～11:00	2:00～4:00	土曜の午後休診
鶴田町	カククリニック	22-6884		2:00～3:00	木曜日実施 電話予約必要

問い合わせ先 市役所 健康推進課 電話 42-2044

◆ 平成19年度 つがる市乳幼児健康診査日程 ◆

名 称	4 か月児童健康診査		10か月児童健康診査		1 歳 6 か月児童健康診査		3 歳児童健康診査	
受付時間	12 : 45～13 : 15		12 : 45～13 : 15		12 : 10～12 : 40		12 : 10～12 : 40	
	実 施 日	対 象	実 施 日	対 象	実 施 日	対 象	実 施 日	対 象
平成19年 4 月	10日(火)	平成18年 12月生	11日(水)	平成18年 6月生	19日(木)	平成17年 9月生	18日(水)	平成15年 9月生
5 月	8日(火)	平成19年 1月生	9日(水)	7 月生	17日(木)	10月生	16日(水)	10月生
6 月	12日(火)	2 月生	13日(水)	8 月生	21日(木)	11月生	20日(水)	11月生
7 月	10日(火)	3 月生	11日(水)	9 月生	19日(木)	12月生	18日(水)	12月生
8 月	28日(火)	4 月生	29日(水)	10月生	21日(火)	平成18年 1月生	22日(水)	平成16年 1月生
9 月	11日(火)	5 月生	12日(水)	11月生	20日(木)	2 月生	19日(水)	2 月生
10 月	11日(木)	6 月生	10日(水)	12月生	18日(木)	3 月生	17日(水)	3 月生
11 月	13日(火)	7 月生	14日(水)	平成19年 1月生	22日(木)	4 月生	21日(水)	4 月生
12 月	11日(火)	8 月生	12日(水)	2 月生	20日(木)	5 月生	19日(水)	5 月生
平成20年 1 月	8日(火)	9 月生	9日(水)	3 月生	17日(木)	6 月生	16日(水)	6 月生
2 月	14日(木)	10月生	13日(水)	4 月生	21日(木)	7 月生	20日(水)	7 月生
3 月	11日(火)	11月生	12日(水)	5 月生	18日(火)	8 月生	19日(水)	8 月生

※ 健診会場：つがる市生涯学習交流センター 松の館

※ 対象児には個別に通知します。

※ 対象月に受診できない場合は翌月に受診ができます。

◆ 妊娠届け及び母子健康手帳交付の 窓口変更についてのお知らせ ◆

これまで各支所でも受付していた「妊娠届け及び母子健康手帳」の交付は、平成19年4月1日から、市役所健康推進課のみでの受付、交付となります。

住民の皆様にはご不便をおかけしますが何卒ご協力くださるようお願いいたします。

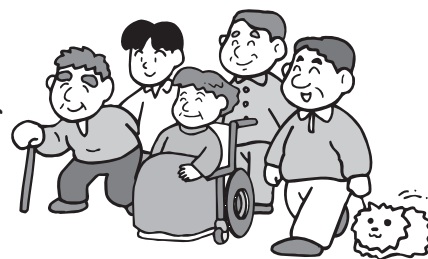


問い合わせ先 市役所 健康推進課 電話 42-2044

つがる市地域包括支援センター

65歳以上のみなさまができる限り介護を必要とせず、いつまでも住み慣れたつがる市で安心して暮らしていけるよう、保健・医療・福祉・介護などさまざまなサービスを組み合わせて包括的に支援していくために、平成18年4月につがる市地域包括支援センターは開設されました。

平成19年4月からは新事業として、要介護認定において要支援1・2と認定された方への介護予防ケアマネジメントも開始します。



～ 地域包括支援センターの事業 ～

★総合相談：

さまざまな相談に応じます

高齢者のみなさまやご家族、地域住民の方の保健・医療・福祉・介護や生活に関することなど、さまざまな相談に応じます。来所相談の他、電話・訪問相談も行っています。

高齢者虐待への対応、悪質な訪問販売や住宅リフォームなどの被害防止、財産を守るなど、高齢者のみなさまの権利と安全を守るお手伝いをします。

★権利擁護：

高齢者のみなさまの権利を守るお手伝いをします

★包括的・継続的ケアマネジメント：

必要なサービスを提供します

高齢者のみなさまの状態にあわせて、とぎれることなく必要なサービスを提供できるように、医療機関などの関係機関との連絡体制づくりを進めます。また、介護支援専門員（ケアマネージャー）への助言などを行います。

介護が必要な状態にならないことを目標に、介護予防ケアプランを作成し、適切な介護予防サービス利用につなげます。

対象者は、要介護認定において要支援1・2と認定された方や、市で行う基本健診受診者で特定高齢者（虚弱高齢者）と選定された方です。

★介護予防ケアマネジメント：

介護予防のための支援をします

地域包括支援センターは、保健師・主任介護支援専門員・社会福祉士が中心となってみなさまの支援を行います。三職種の職員が専門性を生かしながら、互いに連携をとり、「チーム」として総合的にみなさまを支えます。お気軽にご相談ください。

□ 問い合わせ先 □

市役所 福祉課
地域包括支援センター
電話 42-2042

平成19年4月2日から 米・大豆の加入手続きが始まります！ ～ 品目横断的経営安定対策 ～

◆対象農業者：「意欲と能力のある担い手」

認定農業者（4㌔以上）、特定農業団体等（20㌔以上）

※経営規模要件には、中山間地域の地域特例や所得水準の所得特例等がありますので、関係機関にご相談ください。

◆対象農産物：生産条件不利補正対策（麦・大豆）

収入減少影響緩和対策（米・麦・大豆）

◆加入手続き：米・大豆作付者（19年4月2日～7月2日）



～お問い合わせ～

【加入・相談窓口】 青森農政事務所 地域第3課（五所川原庁舎） 電話 0173-35-2138
【相談窓口】 青森農政事務所 五所川原統計・情報センター 電話 0173-35-6060
市役所農林水産課（電話 42-1109）・農協・担い手支援協議会へ

**平成19年
4月から**

70歳未満の人が入院したときの 高額療養費の支給方法が変わります

平成19年4月1日から、70歳未満の人が入院したときの一医療機関の窓口での支払いは、下記に記載された自己負担限度額までとなります。3月31日までは、患者さんが医療機関へ自己負担分を支払い、後日国保に申請し数ヵ月後に限度額を超えた分が支給されます。

4月1日以降は、患者さんが限度額適用認定の交付申請（市役所国民健康保険課へ）を行い、認定証の交付を受け医療機関に提示すると限度額までの支払いとなり、限度額を超える分は国保が医療機関へ支払います。



○自己負担限度額（月額）

所得区分	3回目まで	4回目以降※2
一般	80,100円 + (医療費が267,000円を超えた場合は、その超えた分の1%)	44,400円
上位所得者※1	150,000円 + (医療費が500,000円を超えた場合は、その超えた分の1%)	83,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

※1 基礎控除後の総所得金額などが600万円を超える世帯に当たります。

※2 過去12ヶ月間に、一つの世帯での支給が4回以上あった場合は、4回目以降の限度額を超えた分が支給されます。

○限度額認定証の交付を受けてください

自己負担限度額は所得区分によって異なりますので、あらかじめ国保に申請し、交付された限度額適用認定証を医療機関に提示することで、窓口での支払いが自己負担限度額までとなります。

これらのことから入院する場合は、忘れずに限度額適用認定証の交付を申請するようにしてください。

なお、申請受付は3月28日からとなりますが、国保税の滞納がないことを確認できた場合に限り認定します。

問い合わせ先

市役所 国民健康保険課

電話 42-2161

又は各支所まで

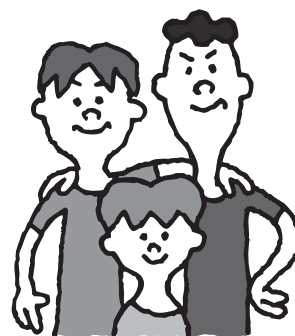
平成19年度児童クラブ利用者募集について

つがる市では市内7箇所に児童クラブを開設しています。

児童クラブは、父母の仕事などにより、放課後子どもが自宅へ帰っても誰もいないなどの家庭の不安を解消するため行っています。

利用にあたって主な留意事項は、次のとおりです。

- 開設日時は、学校授業日の放課後～午後6時までです。
- 利用日の帰りは、保護者が必ず子どもを児童クラブまで迎えに来てください。
- 保護者から負担金をいただきます。
 - ・保育料 月額3千円（家庭状況により減額措置等があります。）
 - ・おやつ代 月額1千円～2千円（各児童クラブで異なります。）
 - ・保険料 年額5百円（4月1日（加入時）～翌年3月31日まで適用）



児童クラブの紹介（①場所②電話番号③対象学校区）

- | | | | |
|-------------|-------------|------------------|------------|
| ○ほなみ児童クラブ | ①穂波小学校内 | ②090-3759-8149 | ③穂波小) |
| ○北保すまいるクラブ | ①北保育園 | ②42-1228（木造北保育園） | ③瑞穂小) |
| ○こもほ児童クラブ未来 | ①旧菰植小学校体育館 | ②45-3588 | ③瑞穂小) |
| ○もりた児童クラブ | ①森田保健福祉センター | ②49-7755 | ③森田小) |
| | | ②25-3133 | ③柏小) |
| ○かしわっ子クラブ | ①柏総合体育センター | ②46-2679（いなほ保育園） | ③稲垣西小、豊川小) |
| ○いなほ児童クラブ | ①旧沼崎集会所 | ②56-2168 | ③富范小) |
| ○富范放課後児童クラブ | ①富范公民館 | | |

利用申込の受付を各児童クラブ及び市役所福祉課で行っていますので皆様のご利用お待ちしております。

問い合わせ先

市役所 福祉課児童福祉係

電話 42-1113

平成18年度

縄文

JOMON SEMINAR

セミナー

～教科書では教えない、縄文文化～

日 時：平成19年3月27日(火)
午後1時

入場無料

場 所：つがる市生涯学習交流センター
『松の館』交流ホール

1時間目：平成18年度牛潟(2)遺跡発掘調査報告

2時間目：徹底検証 つがる市縄文遺跡群の謎!!

3時間目：ジョーモンなんでもかんでもトーク!

アドバイザー：村越 潔氏(弘前大学名誉教授)
川村 眞一氏(元弘前工業高校校長)
鈴木 和子氏(青森県文化財保護課主査)

主催／つがる市・つがる市教育委員会

当日、つがる市縄文住居展示資料館(カルコ)無料開放します。

お問い合わせ：つがる市教育委員会 文化課 TEL (49) 1194